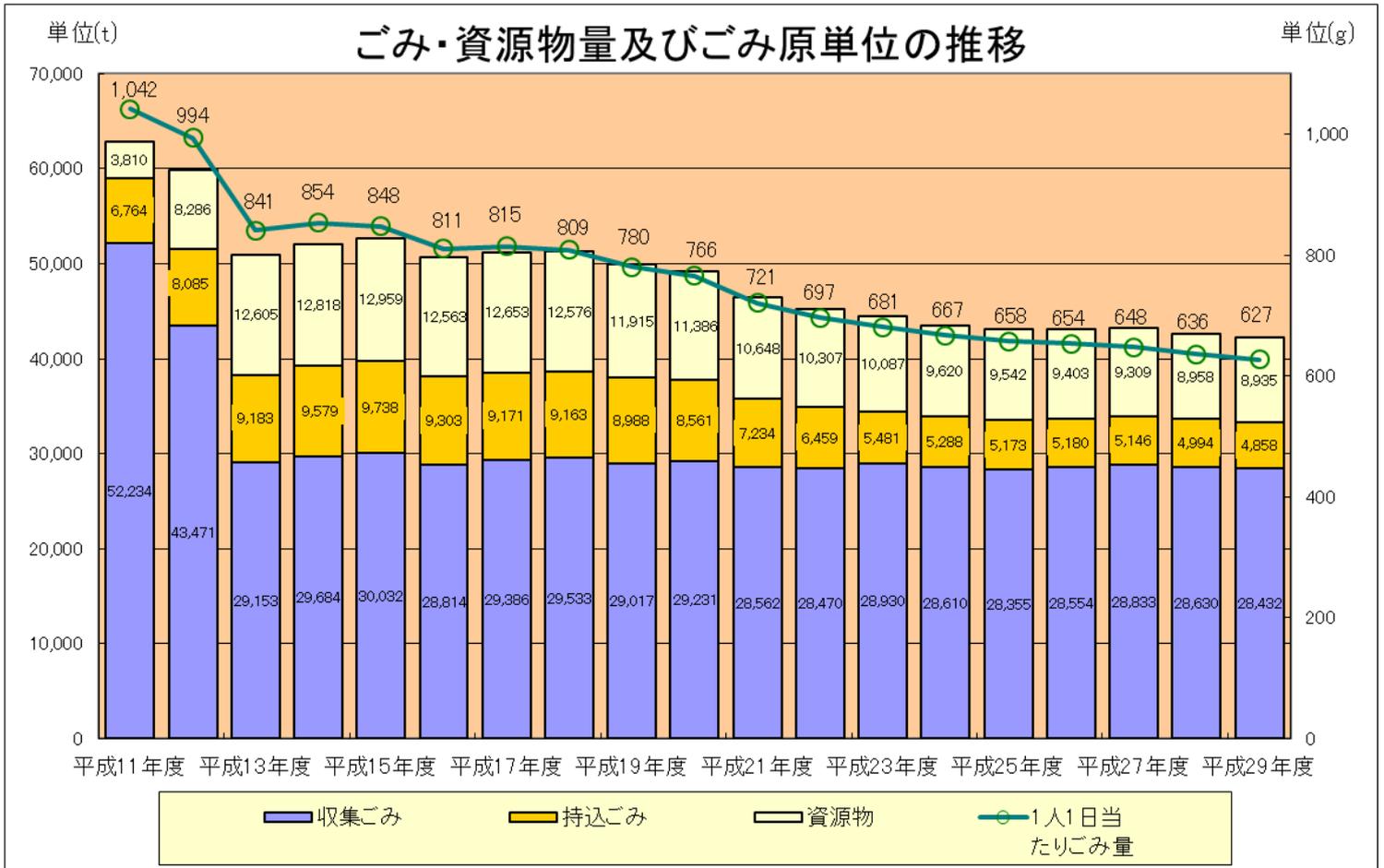


# 日野市の清掃概要

## (平成29年度版)



日野市クリーンセンター

〒191-0021

日野市石田1-210-2

電話：581-0444

FAX：586-6606

# 1 分別収集

種別	収集方法	排出方法	収集回数
可燃ごみ	原則戸別収集	・市指定有料袋（緑色・半透明） 家庭用ミニ袋（5ℓ）＝10円 小袋（10ℓ）＝20円 中袋（20ℓ）＝40円 大袋（40ℓ）＝80円 事業系小袋（15ℓ）＝100円 特大袋（45ℓ）＝300円	週2回
不燃ごみ	原則戸別収集	・市指定有料袋（橙色・半透明） 家庭用ミニ袋（5ℓ）＝10円 小袋（10ℓ）＝20円 中袋（20ℓ）＝40円 大袋（40ℓ）＝80円 事業系小袋（15ℓ）＝100円 特大袋（45ℓ）＝300円	週1回
有害ごみ	原則戸別収集	・無料 乾電池・水銀体温計はポリ袋、蛍光灯は購入時の箱等 ビデオテープ、ライター、スプレー缶を平成17年11月より有害ごみとして分別収集開始	週1回 (不燃ごみと同日収集)
粗大ごみ	原則戸別収集	・品目別料金シール貼付制（電話申し込み） (品目により200円～3,000円)	随時
資源物	原則戸別収集	・無料回収10品目 雑誌・雑紙類、段ボール、紙パック類、古着・古布類、かん、びん	2週に1回
		ペットボトル、トレー類、新聞、小型家電・金属類	4週に1回

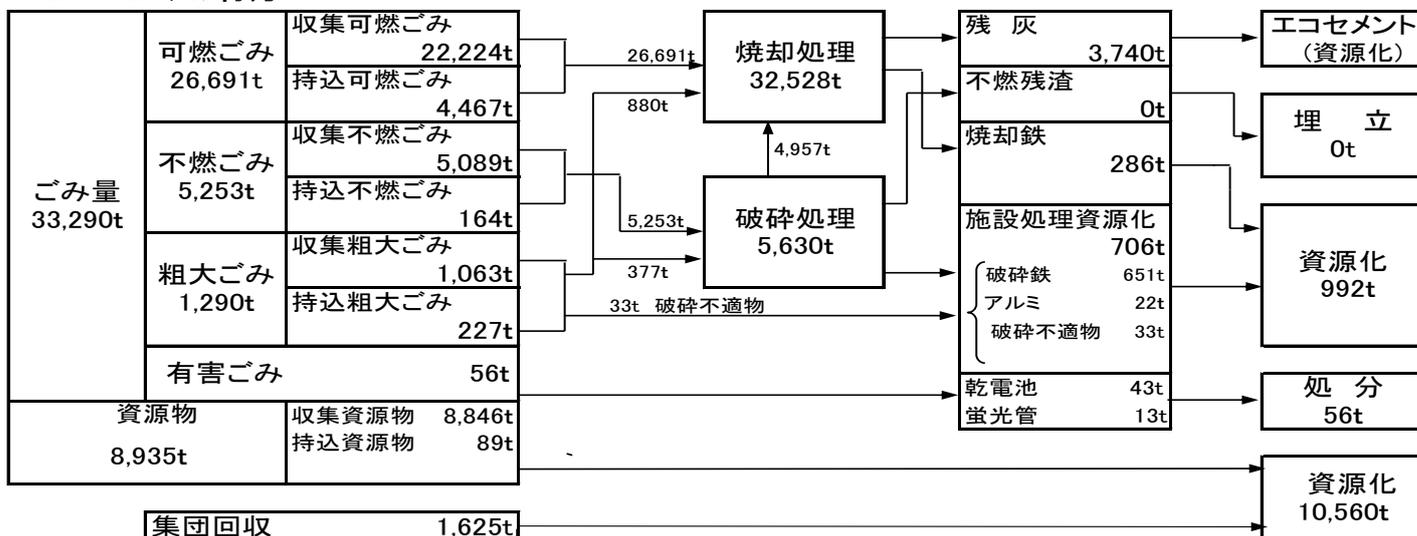
- ※ 平成12年9月までダストボックス収集（可燃・不燃）。平成12年10月から原則戸別収集及び市指定有料袋制。
- ※ 市指定有料袋は1枚当たりの手数料。 ※ 事業系ごみ（可燃・不燃）は1回の排出量が90ℓ以下の事業所のみ収集。
- ※ ペットボトル・トレー類は、平成22年4月からの容器包装お返し大作戦に伴い収集回数を削減。
- ※ 平成25年4月から小型家電・金属類の回収を始める。（平成27年4月よりパソコンの回収を開始）
- ※ 集団回収、販売店の回収奨励により新聞の収集回数を平成25年4月から削減。

# 2 ごみ量の推移

年度	総ごみ量(t)	内訳 (t)						1人1日当たり排出量 (g)	1人年間排出量 (kg)	10/1日現在人口 (人)	
		収集量									持込量 (持込資源物を含む)
		可燃	不燃	粗大	有害	資源物	小計				
11	62,808	40,299	11,088	796	51	3,810	56,044	6,764	1,042	381	164,635
12	59,842	32,895	9,429	1,083	64	8,286	51,757	8,085	994	363	164,948
25	43,070	21,671	5,378	1,244	62	9,447	37,802	5,268	658	240	179,348
26	43,137	22,038	5,322	1,134	60	9,309	37,863	5,274	654	239	180,646
27	43,288	22,281	5,361	1,133	58	9,220	38,053	5,235	648	237	182,623
28	42,582	22,250	5,202	1,120	58	8,847	37,477	5,105	636	232	183,511
29	42,225	22,224	5,089	1,063	56	8,846	37,278	4,947	627	229	184,478

- ※ 1人1日当たり排出量 (g) は総ごみ量 ÷ 各年10/1現在人口 ÷ 365日で算出。ただし、平成11、23、27年度は366日で算出。
- ※ 1人年間排出量 (kg) は総ごみ量 ÷ 各年10/1現在人口で算出。 ※ 10/1現在人口は外国人登録を含む。
- ※ 平成23年4月より持込み料金を25円/kg → 42円/kgに改定。

# 3 ごみの行方



## 4 資源物回収状況

### (1) 市事業

単位：kg

年 度	24	25	26	27	28	29
スチールかん	201,245	194,710	180,862	164,390	163,440	157,940
アルミかん	199,486	197,054	198,926	202,841	200,740	193,872
びん	1,251,520	1,261,280	1,264,550	1,297,850	1,289,010	1,261,130
新聞	951,050	650,820	574,350	515,010	450,750	404,530
雑誌・雑紙類	4,021,670	3,937,120	3,923,740	3,753,250	3,499,140	3,480,080
段ボール	1,491,350	1,526,350	1,478,180	1,506,220	1,503,730	1,548,630
紙パック類	69,559	64,462	61,465	60,067	56,853	53,949
古着・古布類	985,600	951,030	944,150	998,080	931,630	947,120
小型家電・金属類		303,620	297,350	323,770	330,220	333,080
ペットボトル	299,030	305,100	312,720	330,020	345,770	363,070
トレイ類	124,020	129,170	138,360	147,490	152,100	157,890
合 計	9,594,530	9,520,716	9,374,653	9,298,988	8,923,383	8,901,291

※ 平成5年10月から平成12年9月までステーション回収（市内全域420箇所）

※ 平成12年10月から原則戸別回収（市内全域）

※ トレイ類は平成12年9月まで発泡トレイのみ回収、10月以後は発泡スチロール（発泡トレイ含む）とプラスチックボトルを回収。

※ 平成21年度からの回収量については、クリーンセンターへの持込み分を含む。

※ ペットボトル、トレイ類の回収量は、平成21年度までは容リ協会への引き渡し量から按分し算出。

※ 平成22年4月1日より容器包装お返し大作戦を開始。ペットボトル、トレイ類の回収を2週に1回から4週に1回へ変更。

※ 平成25年4月1日より小型家電・金属類の回収を始める。（新聞の回収を2週に1回から4週に1回へ変更）

### (2) 集団回収

単位：kg

年 度	24	25	26	27	28	29
スチールかん	10,457	10,249	11,318	11,357	12,948	14,688
アルミかん	38,984	36,109	38,112	38,948	40,706	41,316
びん	875	410	298	204	257	173
新聞	841,505	782,060	771,197	719,892	650,735	594,843
雑誌・雑紙類	554,109	526,923	562,650	561,432	574,762	564,080
段ボール	286,883	290,398	302,165	303,107	299,160	290,264
紙パック類	16,328	15,061	14,381	14,328	14,114	14,866
古着・古布類	91,361	93,068	98,795	104,523	105,356	104,791
合 計	1,840,502	1,754,278	1,798,916	1,753,791	1,698,038	1,625,021
奨 励 金	15,503,335円	15,494,479円	15,332,241	14,947,433	14,546,297	13,957,540
実働団体数	117	107	110	110	110	108

### (3) 総資源化率

年 度	11	12	24	25	26	27	28	29
総資源化率	13.8%	21.0%	36.1%	36.1%	35.7%	35.3%	34.9%	34.9%

※ 総資源化率＝ $\frac{(\text{資源ごみからの資源化量} + \text{集団回収量} + \text{収集後資源化量})}{(\text{総ごみ量} + \text{集団回収量})}$

## 5 廃棄物広域処分場搬入配分量と搬入実績

年 度		24	25	26	27	28	29
焼却残灰	配分量	3,179 t	3,240 t	3,441 t	3,448 t	3,505 t	3,372 t
	実 績	3,681 t	3,651 t	3,730 t	3,793 t	3,775 t	3,740 t
不燃残渣	配分量	127 m <sup>3</sup>	84 m <sup>3</sup>	71 m <sup>3</sup>	78 m <sup>3</sup>	84 m <sup>3</sup>	46 m <sup>3</sup>
	実 績	156 m <sup>3</sup>	154 m <sup>3</sup>	159 m <sup>3</sup>	26 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>
	(t換算)	109 t	117 t	98 t	17 t	0 t	0 t

## 6 し尿収集量の推移

年 度		25	26	27	28	29
収 集 量 (kℓ)	し 尿	1,536	1,336	1,125	1,073	1,043
	浄化槽汚泥	5,772	5,697	5,591	5,487	5,251
	雑 排 水	251	95	6	8	4
	合 計	7,559	7,128	6,722	6,568	6,298
1日当たり収集量 (kℓ)		20	21	20	18	17
軽減証発行数 (枚)		1,810	1,582	1,561	1,539	1,116

## 7 ダイオキシン類排出濃度測定値

単位：ng-TEQ/m<sup>3</sup>N

年 度		25	26	27	28	29
測 定 値	1号炉	0.067	0.0054	0.0079	0.013	0.045
		0.0072	0.041	0.012	0.022	0.080
	2号炉	0.0014	0.017	0.013	0.028	0.035
		0.0013	0.0039	0.019	0.021	0.00037

※ 排出規制値：1ng-TEQ/m<sup>3</sup>N 平成25年度以降については、年2回、測定を実施。

ng…ナノグラム：10億分の1グラム

TEQ…ダイオキシン類のそれぞれの毒性を2・3・7・8-四塩化ダイオキシンに換算したもの。

m<sup>3</sup>N…0℃、1気圧時の気体の体積

## 8 ごみの処理費

年 度	11	12	26	27	28	29
発生抑制費 (千円)	55,513	120,906	70,420	78,836	60,517	54,288
収集運搬費 (千円)	736,887	1,097,223	904,422	934,608	966,551	965,794
中間処理費 (千円)	849,962	974,853	1,108,180	1,199,536	1,090,414	1,194,723
最終処分費 (千円)	413,553	481,516	489,653	488,052	589,978	641,628
合 計 (千円)	2,055,915	2,674,498	2,572,675	2,701,032	2,707,460	2,856,433
総ごみ量 (t)	62,808	59,842	43,137	43,288	42,582	42,225
1t当たり経費 (円)	32,733	44,693	59,640	62,397	63,582	67,648
1人当たり経費(円)	12,488	16,214	14,242	14,790	14,754	15,484

※ 1t当たり経費は、ごみ処理費の合計÷総ごみ量で算出。

## 9 指定収集袋の歳入による実績

単位：円

年 度	24	25	26	27	28	29
家庭用可燃用袋	240,420,360	247,438,380	238,364,000	250,530,620	251,033,520	258,335,240
	6,962,074枚	7,222,500枚	6,953,080枚	7,288,425枚	7,254,808枚	7,424,630枚
家庭用不燃用袋	157,163,040	159,200,120	149,415,200	154,015,580	150,800,390	153,901,300
	3,584,670枚	3,712,361枚	3,498,110枚	3,613,083枚	3,551,423枚	3,612,290枚
事業系可燃用袋	16,067,000	17,603,000	17,019,000	17,650,000	16,844,000	17,557,000
	62,570枚	69,090枚	67,010枚	69,120枚	65,800枚	68,530枚
事業系不燃用袋	8,834,000	9,576,000	9,168,000	8,937,000	8,831,000	8,747,000
	32,320枚	35,820枚	34,840枚	33,150枚	33,030枚	32,970枚
合 計	422,484,400	433,817,500	413,966,200	431,133,200	427,508,910	438,540,540
	10,641,634枚	11,039,771枚	10,553,040枚	11,003,778枚	10,905,061枚	11,138,420枚

## 10 資源物売却による歳入実績 (資源物回収分)

単位：円

年 度	24	25	26	27	28	29
資源物回収分	53,923,692	63,668,022	72,819,880	64,299,495	48,105,021	66,213,748
施設処理資源化分	14,491,150	16,346,620	16,605,248	10,486,747	1,633,282	1,255,020
合 計	68,414,842	80,014,642	89,425,128	74,786,242	49,738,303	67,468,768

※ 平成23年度より破砕鉄、平成24年度より焼却鉄、平成25年度より小型家電・金属類を売却。

※ 平成27年度より破砕不適物を売却を行ったが、平成28年度に逆有償に戻る。